

配布先：文部科学省、科学記者会、松本市政記者会、長野市政記者会、日刊工業

2022年10月7日

報道機関 各位

国立大学法人信州大学

2012年から2017年にかけて大人のADHDの診断数が日本で急増 －全国の診療データベースを用いた大規模疫学調査－

【研究成果のポイント】

●全国の診療データベースを用いた解析により、2010-2019年度に日本で注意欠如・多動症（ADHD）と新規に診断された人数を調べ、大人も子どもも新規診断数が増加したことを明らかにしました。とくに2012年から2017年にかけて大人の新規診断数が大幅に増えたことがわかりました。

【概要】

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室・精神医学教室の篠山大明准教授、本田秀夫教授らの研究グループは、全国の診療データベース（National Database [NDB]）を用いて、日本におけるADHDの新規診断数を調査しました。その結果、ADHDの年間発生率は、2010-2019年度の間に0-6歳の子どもで2.7倍、7-19歳で2.5倍、20歳以上で21.1倍に増加したことを明らかにしました。とくに、2012年度から2017年度にかけての大人のADHDの発生率の増加が最も顕著でした。

この研究成果は2022年9月30日付でJAMA Network Openに掲載されました。

【背景】

ADHDは子どもで最も頻度が高い神経発達症の一つであり、半数近くは成人後も診断が持続します。しかし、大人の障害としての認知度が不十分であるためにしばしば過少診断されることがあります。本研究では日本におけるADHD診断の実態を調査するため、全国の医療データを集約したNDBを用いて、子どもと大人のADHDの全国的な新規診断数の調査を行いました。

【研究手法・成果】

2009-2019年度に新たにADHDと診断された人の性別と診断時の年齢グループをNDBから抽出し、2010-2019年度の各年度について、ADHDの新規診断数を対象の年齢グループの総人口で割ることによって、各年度の発生率を計算しました。

その結果、2010-2019年度に838,265名が日本でADHDと新規に診断されたことが明らかになりました。0-6歳の子どもでは女児23,292名、男児97,986名、7-19歳では女性91,891名、男性289,862名、20歳以上では女性160,239名、男性174,995名でした。ADHDの年間発生率は、2010-2019年度の間に0-6歳の子どもで2.7倍（女児2.9倍、男児2.7倍）、7-19歳で2.5倍（女性3.7倍、男性2.2倍）、20歳以上で21.1倍（女性22.3倍、男性20.0倍）に増加していました。とくに、2012年度から2017年度にかけての大人のADHDの発生率の増加が最も顕著

で、2018年度にピークとなりました。

【波及効果・今後の予定】

本研究は、日本における ADHD の診断率が増加していることを報告しました。とくに成人での大幅な増加には、大人の ADHD の認知度の高まりが影響していると考えられます。ADHD 治療薬が 2012 年に日本で初めて成人へ使用が承認されたことも大人の ADHD の認知度の高まりに貢献したと推測できますが、本研究では増加の要因については調査していないため、今後の研究で検討する必要があります。

ADHD の頻度の変化を正確に捉えることは、有効な支援体制の実現のためにも、ADHD の危険因子や病因を研究する上でも重要なことです。今後も ADHD の発生率の動向調査が引き続き行われる予定です。

【論文タイトルと著者】

タイトル：Trends in Diagnosed Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder Among Children, Adolescents, and Adults in Japan From April 2010 to March 2020

著者：Daimei Sasayama・Rie Kuge・Yuki Toibana・Hideo Honda

掲載誌：JAMA Network Open

<URL> <https://jamanetwork.com/journals/jamanetworkopen/fullarticle/2796857>

【問い合わせ先】

〈研究内容に関する問い合わせ先〉

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 / 精神医学教室

准教授 篠山 大明

Tel: 0263-37-2638 Fax:0263-36-1772

〈報道に関する問い合わせ先〉

国立大学法人信州大学 総務部総務課広報室

Tel: 0263-37-3056 Fax:0263-37-2188